

事務習熟テスト用 記入例

(第20号書式の2)

業務処理区分コード

545201

この頁は担保差入先が記入（ただし、担保差入先による記入が難しい場合には、事務習熟テストに限り、受託者が記入＜本番運用では担保差入先が記入＞）

担保価額変更依頼書
(住宅ローン債権信託受益権)

担保差入先が本書式を
作成した日を記入

2023年 1月 25日

日 本 銀 行 御 中

(担保差入先)

株式会社〇〇銀行▲▲店

担保差入先の
金融機関等店
舗名を記入

日本銀行が担保価額等につ
いて問合せを行う場合の担
保差入先の部署名および電
話番号を記入

(担保差入先の担当部署)

▲▲店◇◇部 (電話: XX-XXXX-XXXX)

貴行と当方間の担保に関する基本約定（担保に関する基本約定（適格外国債券担保用）を含みます。）にもとづく根担保として差入済みの下記の住宅ローン債権信託受益権の担保価額変更を依頼します。

担保差入金融機関等
コード（4桁）を記入

記

月末営業日の前営業日を記入

適用日	2023年 2月 27日
適用時点	前営業日オンライン開始時: 1
担保差入金融機関等コード（4桁）	XXXX
担保余裕額指定担保種類	住宅ローン債権信託受益権: 01
残存元本相当額（A）	円 XX, XXX, XXX, XXX
担保価額（A×65%）	円 XX, XXX, XXX, XXX

残存元本相当額および担保価額を記入
(事務習熟テストでは適宜の金額)

以 上

日本銀行使用欄

(送信日)

			送信権限者
--	--	--	-------

事務習熟テスト用 記入例

この頁は受託者が記入

上記の残存元本相当額および担保価額に相違ないこと、住宅ローン債権信託受益権が日本銀行が別に定める適格要件を充たしていること、ならびに信託受益権の信託財産を構成する住宅ローン債権にかかる担保差入金融機関等から受託者への信託譲渡については、動産・債権譲渡特例法に基づく債権譲渡登記を具備していることを証明します。

2023年 2月 3日

受託者が本書式を日本銀行に提出する日を記入

受託者の金融機関等名を記入

(受託者)

株式会社××銀行

(受託者の担当部署)

●●店△△部 (電話：XX-XXXX-XXXX)

(担保差入金融機関等)

株式会社〇〇銀行

日本銀行

御中

担保差入金融機関等名を記入

日本銀行が担保価額等について問合せを行う場合の受託者の部署名および電話番号を記入

- (注意) 1. 表面右上部の日付欄は、担保差入先が本書式を作成した年月日を記入する。裏面の日付欄は、受託者が本書式を日本銀行に提出する年月日を記入する。
2. 「担保差入先」欄は、担保差入先の金融機関等店舗名を記入する。「担保差入先の担当部署」欄は、日本銀行が担保価額等について問合せを行う場合の担保差入先の部署名および電話番号を記入する。
3. 「適用日」欄は、月末営業日の前営業日を記入する。
4. 「残存元本相当額」欄は、信託受益権の信託財産を構成する住宅ローン債権の前月末の残高を記入する。ただし、当月中に、追加信託または買戻しがあった場合には、対象の住宅ローン債権の残高（前月末を基準日とする）を加減算すること。
5. 前月末の返済元本相当額は、当月最終営業日に信託財産から払い出されるため、記入を要しない。
6. 「担保価額」欄は、「残存元本相当額」に65%を掛合せた額を記入する（円位未満切捨て。）。
7. 「受託者」欄は、受託者の金融機関等名を記入する。「受託者の担当部署」欄は、日本銀行が担保価額等について問合せを行う場合の受託者の部署名および電話番号を記入する。
8. 日本銀行では、所定の規則に基づき、日本銀行業務オンラインにより本書式が提出された場合には、受託者の代表者またはその者から権限を付与された者から提出されたものとして取扱う。